

第5回

2008サマーセミナー in八ヶ岳

『生命の不思議を探る』

～日本の食はどうなる～

於:八ヶ岳自然文化園 大研修室(諏訪郡原村)

■7月26日(土) 12:00開場

A:13:00~18:00 講演

- | | |
|--------------|------------------------|
| 「食と農」 | 楠原 征治
新潟大学名誉教授 |
| 「郷土食を見直す」 | 林 邦子
郷土食研究家 |
| 「農・食のあり方と健康」 | 長谷川 俊郎
日本地域活力研究所 代表 |

B:19:00~22:00

- ピアノコンサート 演奏:野々垣 真理
「講師を囲んで」懇談会

■7月27日(日)

C:6:30~12:00

- 「八ヶ岳の自然を歩く」リーダー:清水 澄
原村 村長

「八ヶ岳山麓の自由散策」おすすめポイント

- 八ヶ岳自然文化園
- 八ヶ岳美術館
- 八ヶ岳農業実践大学校周辺
- 八ヶ岳温泉 もみの湯

主催:「生命科学を学ぶ会 in 原村」
共催:「ゲノム塾」
後援:原村 原村教育委員会
後援:八ヶ岳中央農業実践大学校

お申し込み先:「生命科学を学ぶ会 in 原村」事務局

TEL:0266-74-2345 FAX:0266-74-2343

お申し込み方法の詳細は裏面に記載しております。

第5回

2008サマーセミナー in八ヶ岳

『生命の不思議を探る』

～日本の食はどうなる～

■「食と農」〈楠原 征治 新潟大学 名誉教授〉

日本の食料自給率はカロリーベースで39%、先進国で最低。身の回りには不安な食材が溢れ、しかも乱れた食生活。これがこの国の「食」の惨状である。食の不安は解消できるだろうか。危機にある食の安全性確保を「食と農」に探る。

■「郷土食を見直す」〈林 邦子 郷土食研究家〉

その土地で昔から作られ食べられていたものの中に、食の安全・地産地消・日本の自給率の問題にまでつながるヒントがあるのではないか。諏訪の伝統食（郷土食）を見直し、その新鮮なおいしさの実感を通して、これからの食の在り方を提案する。

■「農・食のあり方と健康」〈長谷川 俊郎 日本地域活力研究所 代表〉

日本人は長命になったが、多くの人が病んでいる。癌の死亡者は年々増加し、糖尿病・心疾患・認知症も増加の一途をたどっている。話は農・食を正して、生命力ある食と腸内環境の整え、およびバランスあるミネラルの摂りで、健康になれることを示す。同時に、土・農・食・医同源の重要さと、還元の空気と水の摂りにも触れる。

「生命科学を学ぶ会 in 原村」

「生命科学を学ぶ会 in 原村」宛

*切り取らずにFAXしていただいて結構です。

2008:サマ...セミナー...参加費 (宿泊費・交通費は含まれておりません。)

コースA: 7/26	13:00-17:30	社会人・一般対象	講演	1,000円
コースB: 7/26	19:00-22:00	社会人・一般対象	懇談会・ピアノコンサート	1,000円
コースC: 7/27	6:30-12:00	社会人・一般対象	「八ヶ岳の自然を歩く」	500円

2008:サマ...セミナー...参加申込書

*参加をご希望のコースにいくつでも○印を付してください。

住所	氏名	参加コース	性別・年齢	連絡先TEL
〒		A・B・C	男女 才	
〒		A・B・C	男女 才	
〒		A・B・C	男女 才	

お申し込み先: FAX 0266-74-2343 「生命科学を学ぶ会 in 原村」事務局宛

なお、TEL: 0266-74-2345 又は E-mail: omoldep@po10.cv.ne.jp にて、お申し込みいただいても結構です。